



# 霞ヶ関中だより

＜学校教育目標＞自主の誇りをもち、未来を拓く力を持った生徒の育成  
＜5月の生活のめあて＞学習や運動を通して、協力・協働の気持ちを育てよう

5月号 令和7年4月30日（水）



## 命を守るために

校長 守岡 信一

木々の若葉を揺らす、さわやかな風が吹く季節となりました。新年度も1か月が過ぎ、生徒たちは、新しい環境で毎日の学習に一生懸命取り組んでいます。

さて、先日26日（土）に引き渡し訓練を実施しました。

目的については、以下に記した通りですが、大切な命を守るために、引き続き保護者、地域の皆様のご理解とご協力を願っています。

年度の初めにあたり、川越市において大地震が発生した時の対応をまとめてお知らせいたします。

### 大地震が起きたら

川越市教育委員会

川越市内において、震度5弱以上の地震が発生した場合は、保護者への引き渡しを実施します。学校からの連絡がなくても、これに従ってください。また、保護者の方につきましても、自身の安全を第一にしてください。保護者の方が学校に到着するまで、児童生徒は、いつまでも学校で預かります。引き渡しは地震発生からある一定時間後に開始します。地震発生後は、学校は子どもたちの安全を第一優先にして動きます。子どもたちの安全確認ができ次第、引き渡しを開始します。引き渡しの準備ができるまでは校庭でお待ちいただくことがあります。

川越市内において、震度4の地震であっても、市外で震度5弱以上が観測された場合は、児童生徒を学校へ留め置きます。その際、周辺の状況をみて「通常下校」か「一斉下校」か「引き渡し」かを判断します。

### 【大きな地震が起きたときの、学校・家庭の対応】

#### 在校中の対応（川越市震度5弱以上）

児童生徒は引き渡しになります。

※学校から連絡することや個別の問い合わせに対応ができないことが想定されます。

##### 学校・児童生徒

- ①児童生徒の安全の確保
- ②引き渡しメールの送信  
(届かないことも想定されます)
- ③児童生徒の引き渡し  
(迎えがない場合は、学校で保護します)

##### 保護者

- ①自身の安全確保
- ②川越市のHP等で災害状況を確認
- ③児童生徒を迎えてくる  
※状況によっては、すぐに引き渡しができないこともあります。
- ④児童生徒の引き取り

#### 在校中の対応（川越市震度4）

例) 同じ地震で、川越市以外の観測点において震度5弱以上が観測された場合

川越市が震度4かつ市外が震度5弱以上



○児童生徒を学校へ留め置く  
○周辺の状況をみて下校の仕方を判断する

川越市が震度4かつ市外も震度4もしくはそれ以下



○安全確認後、通常下校

#### 登下校中の対応

児童生徒は、自宅に帰るか、学校に来る。（日頃の各学校での指導に準ずる）